

動物の遺棄・虐待は



罰則が強化
されました。

犯罪です。

- 愛護動物を殺傷した場合
5年以下の懲役または
500万円以下の罰金
- 愛護動物を遺棄・虐待した場合
1年以下の懲役または
100万円以下の罰金

●動物の飼養及び管理に関する法律
第20条、愛護動物の死傷の罪、第21条に
おいて5年以下の懲役又は500万円以下の罰金に處する。
1 愛護動物を殺し、又は、その身体に死傷の及ぶ
おそれのある暴行を加え、又はその身体に死傷の及ぶ
おそれのある暴行を加へようとするときは、懲役
し、その罰金及びその併科の懲役とする。この罪は、動物に
対して、その飼養者が著しく過失を犯すことの結果で該
動物を殺傷し、又はその身体に死傷の及ぶおそれのある
暴行を加へた場合であつて、その飼養者によるものによ
り殺傷し、又は殺傷しようとする場合は、その罪状に於て、
第20条の第1項の規定に代つて、第21条の規定とする。
2 愛護動物を遺棄し、又は、その飼養者又はその
飼養者以外の者が、その飼養者から、その飼養者
以外の者に譲渡したとき、第20条の第1項の罪状に代つて、
第21条の規定とする。

※本ページの情報は1/30から



環境省

警察庁